

平成 30 年 10 月 12 日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 愛知県一宮市木曾川町大字玉ノ井字寺東 149-1

団体名 ののはな太鼓

代表者 職・氏名 会長 葛谷 恵子

### 一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	和太鼓演奏を通じた障害児者と市民の交流機会の提供																					
2 事業の分野  〔主たる分野を一つ 選択し、○で囲んで ください。〕	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">保健・医療・福祉</td> <td>社会教育</td> <td>まちづくり</td> </tr> <tr> <td>観光の振興</td> <td>農山漁村・中山間地域振興</td> <td>文化・芸術・スポーツ</td> </tr> <tr> <td>環境の保全</td> <td>災害救援</td> <td>地域安全</td> </tr> <tr> <td>人権・平和</td> <td>国際協力</td> <td>男女共同参画</td> </tr> <tr> <td>子どもの健全育成</td> <td>情報化社会</td> <td>科学技術</td> </tr> <tr> <td>経済活動</td> <td>職業能力・雇用機会</td> <td>消費者の保護</td> </tr> <tr> <td>NPO支援</td> <td>その他( )</td> <td></td> </tr> </table>	保健・医療・福祉	社会教育	まちづくり	観光の振興	農山漁村・中山間地域振興	文化・芸術・スポーツ	環境の保全	災害救援	地域安全	人権・平和	国際協力	男女共同参画	子どもの健全育成	情報化社会	科学技術	経済活動	職業能力・雇用機会	消費者の保護	NPO支援	その他( )	
保健・医療・福祉	社会教育	まちづくり																				
観光の振興	農山漁村・中山間地域振興	文化・芸術・スポーツ																				
環境の保全	災害救援	地域安全																				
人権・平和	国際協力	男女共同参画																				
子どもの健全育成	情報化社会	科学技術																				
経済活動	職業能力・雇用機会	消費者の保護																				
NPO支援	その他( )																					
3 支援金交付申請額	227,666 円																					

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	343,000 円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	341,500 円
当該事業によって得られる収入 (c)	0 円
支援金交付申請額※ 上限: 「(b) × 2 / 3」 または 「(a) - (c)」 のいずれか高くない方	227,666 円

※ 1 円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	ののはな太鼓		
市内事務所の所在地	〒493-0004 一宮市木曽川町大字玉ノ井字寺東 149-1		
代表者 職・氏名	会長 葛谷 恵子		
設立年月	2005年 7月	構成員の人数	60人
U R L	http://www.space.geocities.jp/nonohanataiko		
連絡先 ※この申請に関する 問合せに対応できる方	(担当者氏名) 堀田 吉則		
	電話	0586-72-4865 (090-5614-7679)	F A X 0586-72-4865
	E-mail	nonohanataiko@yahoo.co.jp	
団体の目的	障害児・者及びその家族に対して和太鼓の演奏技術を習得する場および発表の機会を提供する事で障害児者及びその家族の余暇活動の充実を図り、生活を豊かにする事の一助となることをその目的とする。そして地域での活動の発表の場を設けることで地域社会との交流を図り、市民の障害者理解、福祉への関心向上の一助となることを目的とする。		
主な事業内容	(1)和太鼓演奏の技術習得の場の提供 (2)和太鼓演奏の発表の場の提供 (3)その他、この会の目的達成に必要な事業への協力運営		
主な活動の実績	(1)定期体験会の実施・・・毎月第4日曜日(一宮市役所木曽川庁舎 2F 講堂またはチャイブ) (2)太鼓演奏発表・・・これまでに発表の場として下記イベントに参加、演奏 ・かしの木フェスティバル(社会福祉法人榎の木福祉会)、 ・「福祉とボランティア活動展」(一宮市社会福祉協議会) ・療育サポートプラザ「チャイブ」夏祭り・第29回耳の日大会オープニング ・第5回脳損傷者ケアリングコミュニティ学会・愛知大会 ・障害児・者太鼓フェスティバル in 一宮 (3)市民との交流機会・・・演奏を共に楽しむ機会作り ・ほのぼのまつり(社会福祉法人きそがわ福祉会)、いずみまつり(社会福祉法人いずみ作業所) ・木曽川ボランティアフェスティバル(一宮市社会福祉協議会) ・地域企業サマーフェスティバル(トヨタ紡織㈱) ・地域施設との交流 (大志保育園、アコード丹羽(高齢者支援施設)、上林記念病院(秋祭) 民生・児童委員開明支会(独り暮らし老人交流会)、ほほえみ五城) ・ワークショップ「プロ和太鼓集団によるワークショップ『太鼓を学ぼう』～志多らといっしょに～」 <u>開催</u> ・和太鼓交流演奏会 (春明太鼓保存会との共演) <u>開催</u> ・和太鼓ワークショップ in のきやま学校(バスツアー) <u>開催</u> (4)演奏以外の交流活動 ぼんぼりウォーク(歩こう会主催)への参加(絵画提供、ウォーク参加) 地域企業(トヨタ紡織㈱)との交流(サマーフェスティバル出演) 講演会『ことばの遅い方とともに地域で暮らす～あなたにできること わたしにできること～』 <u>開催</u>		
今年度予算額	¥343,000 円	昨年度決算額	¥300,000 円
条例第2条第3項に掲げる要件について	<input checked="" type="checkbox"/> すべて満たしている ・ <input type="checkbox"/> 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有 (補助金等の名称: ) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

<p>団体名</p>	<p>ののほな太鼓</p>
<p>事業の名称</p>	<p>和太鼓演奏を通じた障害児者と市民の交流機会提供事業</p>
<p>事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間 (準備期間や後処理期間も含めてください) 平成 31年 4月 1日 ~ 平成 32年 3月 31日</p> <p>(2) 実施場所 (定期)一宮市役所木曾川庁舎 2F 講堂、療育サポートプラザ チャイブ (非定期)各演奏会会場(きそがわ福祉会、スポーツ文化センター、尾西市民会館、市内施設等)</p> <p>(3) 受益対象者 ①市内の和太鼓並びに福祉に関心のある市民、障害児者及びその家族 ②各交流会に参加する市民 ③障害児者、高齢者や病気を抱える家族の介護に関わる保護者、福祉関係者</p> <p>(4) 実施体制 ののほな太鼓メンバーがスタッフとして以下のような取り組みを行う。 ・交流内容立案、アピール(リーフレット更新配布、PR ビデオの作成) ・プロの和太鼓集団スタッフを講師に迎え和太鼓演奏技術の向上に努める。 ・出張先主催者の依頼内容に応じたプログラムの立案 ・講演会の開催に向け、講師との交渉・打合せ、開催場所の手配を行う。</p> <p>(5) 具体的な内容 「和太鼓体験会」: 毎月 1 回 3 時間、一般市民との交流機会提供。 「和太鼓体験出張サービス」: 各種イベントで来場市民への体験機会提供。 「口腔ケア講演会」開催: 障害児者に関わらず市民の健康維持につながる口腔ケアに関わる講演と和太鼓演奏を楽しめる会を開催。</p>
<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<p>市民活動支援制度を活用した『交流機会提供』事業を継続してきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多数の高齢者介護施設から継続的に演奏を依頼される等、事業継続による認知度が高まり、これまでの取組みが実を結んできたことを実感している。</li> <li>・H29 年度は新たな試みとして市民の参加を募り「志多ら」のふるさとである東栄町の「のきやま学校」でワークショップを開催した。太鼓を介した交流に加え往復のバス移動も含めた交流機会となった。事前下見も含めた綿密な打合せ等により、70 名超の参加者にも拘わらず円滑な進行が出来た。</li> </ul> <p>H30 年度にはこれまでの太鼓交流演奏で共演した『春明太鼓保存会』、及びのきやま学校で交流した『一宮太鼓』と共に交流演奏会を開催する運びとなった。一宮市内で長く太鼓の伝承に取り組まれている 2 団体と共演できることはとても意義深いことだと考える。</p> <p>今後も「和太鼓」を媒体とした市民との交流機会作りを継続することにより行政の目指す“共生のまち一宮”の実現に活かしていきたいと思う。</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p><b>【目指す地域・社会像】</b>          交流機会の提供により障害児者への理解が深まり、福祉意識の向上が図られることで一宮市が障害福祉計画で目指す「誰もが人格と個人を尊重し支え合う共生のまち」の実現を目指す。</p> <p><b>【地域課題】</b>          演奏・交流機会への参加者、企業との協力、他の団体との交流のいずれもが増え、障害児者への認知は高まり、自然に関りを持って頂ける雰囲気醸成されてきたが、市民意識向上による共生社会の実現には交流機会の継続的な提供が課題である。</p> <p><b>【事業の実施による効果】</b>          上記の課題解決のために、打っただけで音とリズムが刻め、体全体でリズムを感じられる初心者でも取り組みやすい「和太鼓」を媒体とした交流機会の提供、新たな関わりの形の提案により、福祉に関心を持った市民が増加し、市民の方と障害者との「共生」を考えるきっかけとなり、地域社会全体で関わりを作っていくレベルに昇華する事に繋がるといった効果が見込めると考えます。まさに「共生」の街一宮の実現に近づくと考えます。</p>	
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p><b>【受益者負担のみで事業を行えない理由】</b>          本事業は障害児者と市民との交流機会を提供し、市民への障害児者の生活理解を深める試みとして、市民全体の福祉意識向上に繋がる事業と位置付けており、受益者に負担を求める性格のものではないと思われるため。</p> <p><b>【公金で実施する理由】</b>          無償で参加しやすい障害のある人たちとの和太鼓体験を提供することで、広く一般市民が自然に交流の輪に加われ、その交流の中で市民には障害児者の持つ多様性への理解や福祉意識の向上が期待でき、十分公益に叶うものと考えます。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月）</p> <p>通年</p> <p>月例行事</p> <p>6月</p> <p>8月</p> <p>10月</p>	<p>内 容</p> <p>◇リーフレット配布、ホームページを通じての交流機会情報発信</p> <p>◇和太鼓体験出張サービス(各種施設でのサービス)</p> <p>◆体験会 毎月第4日曜、一宮市木曽川庁舎 2F 講堂          (うち1回は交流演奏会を計画)</p> <p>◆体験出張サービス ほのぼのまつり</p> <p>◆口腔ケア講演会</p> <p>◆体験出張サービス「みんなといっしょに 福祉とボランティア活動展」</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団体名 ののはな太鼓

事業の名称 和太鼓演奏を通した

障害児者と市民の交流機会の提供

収入

科目	金額 (円)	内訳
一宮市支援金	¥227,666	
事業収入	¥ 0	
自主財源	¥115,334	<input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他 ( )
計	¥343,000	

支出

科目	金額 (円)	左記のうち 支援金算出額 (円)
報償費	¥ 240,000	¥ 240,000
旅費	¥ 10,000	¥ 10,000
印刷製本、消耗品費	¥ 40,000	¥ 40,000
食糧費	¥ 3,000	¥ 3,000
通信費、手数料	¥ 5,000	¥ 5,000
備品費	¥ 0	¥ 0
人件費	¥ 15,000	¥ 13,500
使用料、賃借料	¥ 30,000	¥ 30,000
その他	0	0
計	¥ 343,000	¥ 341,500

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳※1
	支援金算出額 (円)	
報償費	¥ 240,000	講師(体験会) ¥160,000 (@20,000×8回) 講師(講演会) ¥80,000 (@80,000×1回)
	¥ 240,000	
旅費	¥10,000	交通費 1,000円×10回
	¥10,000	
印刷製本、 消耗品費	¥ 40,000	印刷費 パンフレット A4(両面) ×500部 =2,970円 プログラム A3 二つ折り ×300部 =5,820円 ポスター A2 ×10部 =5,800円 消耗品(印刷用インク、文房具(筆記具、紙代等) 25,410円
	¥ 40,000	
食糧費	¥ 3,000	講師食事代 1,500円×2人
	¥ 3,000	
通信費、 手数料	¥ 5,000	封書、切手等通信費 2,000円×2回 レンタル手数料 1,000円
	¥ 5,000	
備品費※2	¥ 0	
	¥ 0	
人件費	¥ 15,000	交流イベント受付スタッフ代として 1,000円×5h×3人=15,000円 (@900円×5h×3人=13,500円)
	¥ 13,500	
使用料、 賃借料	¥ 30,000	ホール午前午後利用料(含む付帯施設費用)
	¥ 30,000	
その他		

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを( )書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000円×5h×2人=10,000円 (@900円×5h×2人=9,000円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。